

2016 年 4 月 4 日

株式会社サンフレッチェ広島
代表取締役社長 織田 秀和 様

公益財団法人 日本サッカー協会
事務総長 岩 上 和 道



サッカースタジアム基準に関する質問書について（回答）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、本協会の事業につきましては、ご理解・ご協力を頂きましてありがとうございます。

さて、本協会が開催又は誘致する国際的な競技会の会場選定には観客収容人数が大きな要素の一つであることは間違いございません。しかしながら、この度、貴社からお問い合わせいただきました収容人数 25,000 人と同 30,000 人の間の差異につきましては、そのどちらも本協会のスタジアム基準でいうクラス 1（20,000 人～40,000 人）に属しておりますので、両規模とも同様に、なでしこジャパン、オリンピック、ユース年代などの日本代表、AFC 主催の国際的な競技会を開催又は誘致することは可能と判断します。一方、収容人数以外にもスタジアム環境としては、観客にとっての快適性が求められます。ただサッカーの試合観戦できれば良いといったスタジアムでは顧客のニーズを満足させることが出来ません。寒い冬の冷たい雨や夏の炎天下からの直射日光を遮ることができる様な屋根は必ず必要になります。また、迫力あるプレーヤーを間近で観戦できるようにピッチと観客席が近いことも重要なことの一つです。

スタジアムの立地条件としては、都市の中心部にあり、公共交通機関や主要幹線道路、高速道路からアクセスができ、試合日以外にも利用できる駐車場があることが理想です。特に国際的な競技会を誘致するには、ホテルや商業地区が近接し、国際空港からアクセスができなければなりません。

この他にも、スタジアムの機能として、良好な天然芝ピッチ、試合関係者が利用できる充分な諸室、メディア施設、特にVIP席や特別な方々をご招待できるようなホスピタリティの充実を図ることが収益性の面からも必要となっております。

以上の通りに 2016 年 3 月 25 日付けで頂いたご質問について回答させていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

【本件に関するお問合せ先】

公益財団法人日本サッカー協会 競技運営部

TEL:03-3830-1809/FAX:03-3830-2004